

様式第7号(第7条関係)

公の施設事業報告書

令和3年5月25日

下妻市長 様

所在地 茨城県下妻市数須140番地  
名称 株式会社ふれあい下  
代表者氏名 菊地 博  
電話番号 0296-30-5294

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第11条の規定により、次のとおり令和2年度事業報告を提出します。

- 1、公の施設の名称  
道の駅しもつま
- 2、管理業務の実施状況  
別紙参照願います。
- 3、利用者状況及び利用拒否の件数・理由  
別紙参照願います。
- 4、使用料又は利用料金の収集実態  
別紙参照願います。
- 5、管理経費の収支状況  
別紙参照願います。
- 6、その他

## 2、管理業務の実施状況

### (1)今年度の状況

今年度は「新型コロナウイルス感染症問題」が世界各地で猛威を振るい、我が国でも都市部中心に感染者が増加となり、感染予防対策として「緊急事態宣言」・「外出自粛要請」・「3密対策」などにより、生活様式や仕事の勤務体系など、私達の日常にも大きな変化があった1年となりました。

日本各地では開催予定のイベント等が軒並み中止となり、家族旅行や観光バスツアー等も激減、当駅も利用者低迷の時期や徐々に回復の兆しが見えた時期などがあり収益の確保が厳しい環境となりました。4月中旬からは感染症対策の取組みとして営業時間の短縮、飲食店はテーブル席数を間引きし密対策の強化、ゴールデンウィーク期間である5月1日～6日までは「農産物直売コーナー」と「弁当販売」に限定し営業いたしました。その後も利用者の低迷が続きましたが、スタッフ全員で常に「明るい笑顔の接客」・「活気ある道の駅」を目指し、常に前向きに創意工夫を考え、利用者の皆様に喜ばれる「生活応援特売」や「月末市」等のイベントを毎月展開してまいりました。今年度、利用件数が減少しているなか「農産物直売コーナー」・「お食事処しもん亭」の2つの部門は売上が前年度を若干上回ることができました。農産物直売コーナーは、野菜等の大量買いが平日土日にも関わらず多く見受けられました。「お食事処しもん亭」では、テイクアウト弁当の種類を増やし、市内への配達等も実施する他、昨年度から「下妻市ふるさと納税返礼品」の商品として「お節料理」の提供、同時に一般販売も昨年同様に実施したところ昨年以上の予約注文数となり従業員の励みにもなりました。また、従業員の給与面についても「雇用調整助成金」の活用、市の「テイクアウト事業」や「下妻市プレミアム商品券」等の取扱いもあり売上が低迷していた部分もカバーすることが出来ました。

「道の駅」運営は、サービス業であり観光施設でもあるため外出自粛要請は非常に経営を圧迫する事になります。様々な業種にとっても経営が厳しい年であり「来てもらう事に感謝」その反面「多くの利用者に来ていただくと感染リスク問題もあり」難しい問題に直面しながらの1年間でした。

売上高は 598,306 千円 (前年比 57,308 千円減少・前年対比率 8.7%減少)

## (2)各部門の状況について

### 《農産物直売コーナー》

・農産物直売コーナーの魅力は「下妻市農産物出荷組合員」の皆様の朝採り新鮮野菜です。リピーターの方より電話での問い合わせも多く、好調な売行きとなっております。来場者数は前年度より減少となりましたが、土日平日に関わらず大量買いされる方が目立ちました。また、夏季期間は下妻名産の「梨」を求めて来館される方や、下妻市発祥と呼ばれておりますお米の「ミルキークイーン」、新鮮な「メロン」・「ぶどう」等の果物も人気商品となっております。

売上高 286,609 千円 (前年比 2,914 千円増加・前年対比率 1.0%増加)

主な取組みは下記の内容となります。

- ①旬の野菜、旬の果物を中心に売場展開
- ②野菜詰合せボックス販売
- ③イベントとして「野菜の詰め放題」・「生卵の詰め放題」・「お米のすくい取り」等が好評となり、「生活応援・月末市」では「野菜」・「果物」・「豚肉」・「卵」・「餃子」・「そば粉」などを特売品として販売いたしました。

### 《お土産&コンビニコーナー》

・観光客の利用者数減少、各地でのビールイベントが全て中止となり、売上が毎月激減となり、日々苦戦しながらも観光土産品から食卓に並ぶ「ご飯に良く合う瓶詰商品」や「おうち土産品」等、自宅で味わえる商品を取り揃え売上改善に努めました。

売上高 100,013 千円 (前年比▲42,554 千円減少・前年対比率 29.8%減少)

主な取組みは下記の内容となります。

- ①「ご飯に良く合う商品」・「おうち土産品」等の販売強化
- ②大ブームアニメ「鬼滅の刃」関連商品販売(箱菓子・和柄の湯飲み・マスク・他)
- ③新型コロナウイルス対策グッズ「マスク、アルコール消毒スプレー」販売
- ④茨城県内の酒蔵4社増やし県西地区では販売されていない酒類販売が好調
- ⑤無人試食販売から人を付けて「お試しコーナー」を設けて販売を実施する。
- ⑥茨城県内初出店商品販売で他の道の駅、大手スーパーとの差別化を図る。

### 《お食事処しもん亭》

・新型コロナウイルス感染症対策として客席数を10席程度間引き、飛沫感染対策としてテーブルにはアクリル板を設置、3密対策として営業時間短縮等も取入れました。4月～8月まで売上が低迷しましたが、8月下旬には「道の駅・駅弁」として広告枠を広げPRしたところ売上改善となりました。また、市内限定ではありますが配達等も取入れ、9月からは弁当販売が好調となり、来場者数が激減ではありますが、売上高は前年度を若干上回る事が出来ました。飲食業界が苦戦しているなか当駅の「お食事処しもん亭」

は創意工夫をして利用者のニーズに応える取組みが出来ました。

売上高 49,468 千円 (前年比 160 千円増加・前年対比率 0.3%増加)

主な取組みは下記の内容となります。

- ①下妻市「テイクアウト事業」で4月～6月までの期間販売数を増加する。
- ②8月下旬に「弁当の新聞折込広告」を3万世帯へ配布し販売数が1.5倍増加となる。また、下妻市内限定「弁当の宅配」を実施いたしました。
- ③お節料理販売は前年度を大きく上回る事が出来ました。

#### 《そば打ちめいじん亭》

・「お食事処しもん亭」同様に客席数の間引き、アクリル板設置、営業時間短縮を実施いたしました。元々、客席数が少ない店舗のため8席程度間引きすると運営が厳しくなり、屋外に設置してあるテーブル席でも飲食出来るように案内等を心掛けました。

売上高 40,633 千円 (前年比 6,973 千円減少・前年対比率 14.6%減少)

主な取組みは下記の内容となります。

- ①弁当販売数の強化
- ②屋外屋根付きスペースを客席として活用
- ③10月・11月は「そばの試食会」等を本館前にて実施してPR活動
- ④11月「新そばフェア」、12月「年越しそばフェア」を開催する

#### 《BAKERY しもんばん》

・来場者数が減少のなか農産物直売所同様に大量にパンを購入される方を多く見受けられました。ベーカリーでは前年同月販売数や先週の販売数データを基に製造数を決める事が通年ではありますが、外出自粛要請が強まると1週間前の販売実績、感染情報を加え製造数の調整を行いチャンスロスや無駄を無くす工夫を実施いたしました。

売上高 72,816 千円 (前年比 7,375 千円減少・前年対比率 9.2%減少)

主な取組みは下記の内容となります。

- ①毎月新作パンの販売
- ②下妻プレミアムプリンの一歩プリンサービスにてプリン販売強化
- ③苺クリームパン、贅沢クリームパン販売が人気となり好調な売行きとなる。
- ④製造スタッフによる「社内パンコンクール」を実施することにより技術向上・商品化など取組みました。

#### 《下妻納豆工場》

・新型コロナウイルス感染症対策のため外出自粛となると、お取引先の「道の駅」、「観光地の直売所」等が臨時休館又は営業時間短縮もあり、利用者減少で売上が低迷しました。一方、大手スーパーマーケットでは納豆による「免疫力アップ効果」などのPRもあり、

前年度同等の売上となりました。また、一昨年8月は「黒豆塩切納豆」がテレビ報道、雑誌掲載等もあり一時的に爆発的な売上となりましたが、1年も経過すると販売数は徐々に落ち着き売上減少の要因の一つとなりました。

売上高 37,728 千円 (前年比 3,611 千円・前年対比率 8.7%減少)

### 《宝くじ売場》

・経済が落ち込む時は「宝くじが良く売れる」と言われております。当駅の宝くじ売場は昨年より売上高、来場者数が好調となりました。(販売総額 123,517 千円)

販売手数料 5,889 千円 (前年比 374 千円増加・前年度より 6.8%増加)

主な取組みは下記の内容となります。

- ①大宝八幡宮の宮司の方に直接売場に来ていただき「当選祈願」等を実施する。  
その後、ホームページに「ご祈願」されている写真等を掲載し PR に努める。
- ②「サマージャンボミニ・1等 1,000 万円」が当売場から出た事により、館内放送や看板の設置等を実施したところ、「ハロウィンジャンボ」・「年末ジャンボ」の売行きが絶好調となりました。

### 3、利用状況及び利用拒否等の件数・理由

#### (1)店舗別の利用件数

店 舗 名	利用件数(人)
農産物直売コーナー	224,612 件
物産&コンビニコーナー	109,713 件
お食事処しもん亭	31,283 件
そば打ちめいじん亭	34,429 人
BAKERY しもんばん	97,243 件
宝くじ売場	51,045 件
研修室	77 人
その他	63,189 件
合計	611,591 件

#### (2)利用拒否等の件数

拒否件数 0 件

### 4、使用料又は利用料金の収入実態

施 設 名	利 用 実 績
研修室	5 件 77 人

## 5、 管理経費の収支状況

公の施設に係る収支状況報告書(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 単位：千円

	科目	予算額	決算額	比率	
収入	道の駅売上高	600,000	598,306	99.9%	
	収入合計 (A)	600,000	598,306	99.9%	
支出	売上原価 (B)	360,000	367,922	102.2%	
	販売費及び一般管理費 (C)	235,000	234,053	99.6%	
	販売費及び一般管理費内訳	人件費	155,000	159,840	103.1%
		広告宣伝費・販売促進費	5,000	4,885	97.7%
		旅費交通費	800	347	43.3%
		発送配達費	1,700	1,622	95.4%
		支払手数料	1,600	1,570	98.1%
		リース料	998	998	100.0%
		減価償却費	7,500	7,468	99.6%
		保守修繕費	6,500	6,118	94.1%
		通信費	1,068	1,032	96.6%
		水道光熱費	17,000	13,809	81.2%
		租税公課	540	448	82.9%
		寄付金	74	74	100.0%
		地代家賃	145	145	100.0%
		保険料	1,575	1,575	100.0%
		接待交際費	400	297	74.2%
		備品・消耗品費	16,000	15,260	95.3%
		管理諸費	5,500	5,522	100.4%
		研修費	100	14	14.0%
車両燃料費		1,000	744	74.4%	
	貸倒償却	100	96	96.0%	
	施設管理委託費	12,300	12,058	98.0%	
	その他	100	131	131.0%	
	支出合計(B)+(C)=(D)	595,000	601,975	100.6%	
収支	(A) - (D) = (E)	5,000	-3,669		
営業外	収益 (F)	5,000	9,189		
営業外	費用 (G)	300	301		
経常	利益(E)+(F)-(G) 【営業利益】	9,700	5,218		
	法人税等	205	205		
	当期純利益	9,495	5,013	52.7%	

## 6、その他

### 新型コロナウイルス感染症対策の取組み

- ①緊急事態宣言・外出自粛要請に伴い4月中旬から5月中旬まで全館17時閉店。
- ②「ゴールデンウィーク期間中」の5月1日～5月6日までは「農産物直売コーナー」・「弁当販売」に限定し運営いたしました。その期間の営業時間は10時～15時までとしました。現在も新型コロナ感染症問題が収束しておりませんので、時間短縮営業で運営しております。
- ③出入口5カ所にアルコール消毒スプレー設置。
- ④簡易体温計お客様側1台、従業員通用口1台設置。  
従業員で体温が37度以上ある者は直ぐに退社措置。(対象者無し)
- ⑤レジカウンター、調理カウンターには飛沫感染防止の「アクリル板」を設置。
- ⑥飲食店も同様に飛沫感染対策として客席のテーブルの上の「アクリル板」設置や席数を減らし運営。
- ⑦定期的に館内の空気の入換えを実施。
- ⑧定期的に館内放送で感染対策の呼びかけを実施。  
(マスク着用・アルコール消毒利用・密対策)
- ⑨定期的に手すり、自動ドアタッチ部分、テーブルなどのアルコール消毒を実施。
- ⑩従業員にはマスク支給、手洗いの実施、休憩する場合は密にならないように指導、感染エリアには極力出入り禁止、自宅でも感染対策のお願いしております。